

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	国際科学技術センター		担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者	国際交流官 石田 徹		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	国際交流官付					
会計区分	一般会計		施策名	VII-4. 科学技術の国際活動の戦略的推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画、国際科学技術センターを設立する協定(平成4年11月27日署名)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際的な知的公共財の創出や地球規模課題の解決に資する科学技術協力を国際機関への拠出を通じて行い、我が国の科学技術の戦略的推進を図ることを目的としている「国際機関への拠出等」のうち、国際科学技術センター(ISTC)は平成6年に日、米、EU、ロシアによって設立された国際機関であり、旧ソ連邦諸国の科学者等に平和活動に従事する機会を与えること、同諸国の市場経済移行を促進すること、また、同諸国のみならず地球規模問題の解決に寄与することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日、米、EU、ロシアの4極により設立された国際科学技術センター(ISTC)において実施される地球規模問題研究の実施に必要な経費を拠出するもの。拠出された経費の中には、各国政府が支援するプロジェクト(レギュラープロジェクト)の実施やワークショップを実施するための経費等が含まれている。また、我が国の民間企業や政府関係機関が、ロシア・CIS諸国と共同研究を行えるパートナープロジェクトの推進に係る経費が含まれる。パートナープロジェクトにより、我が国の民間企業や政府関係機関はロシア・CIS諸国において、必要な物品の輸入手続きの支援や、税制面の優遇等を受けることができる。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算			61	55	55		
		補正予算			-	-			
		繰越し等			-	-			
		計			61	55	55		
	執行額				61				
執行率(%)				100.0%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	本事業は、旧ソ連邦諸国の科学者等に平和活動に従事する機会を与えること、同諸国の市場経済移行を促進すること、また、同諸国のみならず地球規模問題の解決に寄与することを目的としていることから、定量的な指標による評価になじまない。 なお、本事業により拠出が行われているISTCの成果として、以下のようなものを挙げることができる。 ①設立以来、2,700以上のプロジェクトを実施。 ②これまでに、74,000人以上の研究者にグラントを付与。 ③ロシア・CIS諸国が持つ特色ある技術を活用し、農業、ライフサイエンス、環境、原子力、情報通信、材料、航空宇宙等の多様な分野で研究プロジェクトを実施。 ④約400の団体がパートナーとして登録。			成果実績	-	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	下記2指標を活動指標とした。 (この2指標で事業全体の活動実績を表わすことはできない。本事業は旧ソ連邦諸国の科学者等に平和活動に従事する機会を与えること、同諸国の市場経済移行を促進すること、また、同諸国のみならず地球規模問題の解決に寄与することを目的としているため、定量的な指標による評価になじまない。)			活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	
	文部科学省が支援しているレギュラープロジェクト数			活動実績 (当初見込み)	件	5	8	7	-
	文部科学省が支援しているワークショップ数			活動実績 (当初見込み)	回	5	3	2	-
単位当たり コスト	-			算出根拠	文部科学省の拠出金は、ISTCの各活動に使われるが、レギュラープロジェクト・ワークショップに対応するインプットの額を特定できないため、単位当たりコストは算出し難い。				
平成24・25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	国際科学技術センター 拠出金	55百万円	55百万円						
	計	55百万円	55百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、旧ソ連邦諸国の科学者等に平和活動に従事する機会を与えること、同諸国の市場経済移行を促進すること、また、同諸国のみならず地球規模問題の解決に寄与することを目的とする、ニーズの高い事業である。また、国際機関への拠出金であるため、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	拠出された経費は、各国政府が支援するプロジェクト(レギュラープロジェクト)の実施やワークショップを実施するための経費、我が国の民間企業や政府関係機関がロシア・CIS諸国と共同研究を行うパートナープロジェクトの推進に係る経費、人件費、ISTCにおいて実施する研究に係る経費に限定されている。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業による成果は以下のとおり。 ①設立以来、2,700以上のプロジェクトを実施。 ②これまでに、74,000人以上の研究者にグラントを付与。 ③ロシア・CIS諸国が持つ特色ある技術を活用し、農業、ライフサイエンス、環境、原子力、情報通信、材料、航空宇宙等の多様な分野で研究プロジェクトを実施。 ④約400の団体がパートナーとして登録。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 議場名：国際科学技術センター(ISTC)拠出金 府省名：外務省軍縮不拡散・科学部 国際科学協力室	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>【目的・予算の状況】 当事業は、旧ソ連邦諸国の科学者等に平和活動に従事する機会を与えること、同諸国の市場経済移行を促進すること、また、同諸国のみならず地球規模問題の解決に寄与することを目的とする有用な事業である。</p> <p>【資金の流れ・費目・使途】、 当初の目的どおり、ISTCへ拠出された。</p> <p>【活動実績・成果実績】 ①設立以来、2,700以上のプロジェクトを実施。 ②これまでに、74,000人以上の研究者にグラントを付与。 ③ロシア・CIS諸国が持つ特色ある技術を活用し、農業、ライフサイエンス、環境、原子力、情報通信、材料、航空宇宙等の多様な分野で研究プロジェクトを実施。 ④約400の団体がパートナーとして登録。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>1. 事業評価の観点：当該事業は、地球規模問題研究の実施を支援するため、国際科学技術センター(ISTC)に対して拠出金を拠出する事業である。</p> <p>2. 所見：当該事業は、平成25年度についても、引き続き活動実績と費用対効果を検証し、適正な規模で事業を実施すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	<p>ISTCは、旧ソ連邦諸国の大量破壊兵器開発科学者等に平和活動に従事する機会を与えること等を目的とする国際機関である。日本は、効率化を追求しつつ、本協力枠組みへの参加に必要な最低水準の貢献を行っている。本事業の規模は、効率化の観点に加え、世界情勢を踏まえて検討する。</p>		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0192	平成23年行政事業レビュー	0034

文部科学省
61百万円

〔日、米、EU、ロシアの4極により設立された国際科学技術センター(ISTC)において実施される研究に必要な経費を拠出。〕



〔拠出〕

〔A〕 国際科学技術センター(ISTC)
61百万円

〔各国政府が支援するプロジェクトの実施及び、日本及びロシア・CIS諸国の両国研究者の研究への関心醸成のためのワークショップ等を実施〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.国際科学技術センター(ISTC)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	レギュラープロジェクト等	61			
計		61	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際科学技術センター (ISTC)	地球規模問題研究のために、各国政府が支援するプロジェクト(レギュラープロジェクト)やワークショップ等を実施	61	-	-

※拠出金のため、入札者数および落札率は「-」としている。